

平成26年度第1回経営協議会議事要旨

日 時 平成26年6月5日（木）16時45分～17時31分
場 所 札幌駅前サテライト 教室1
出席者 学外委員：祖母井、柿沼、蔵本、高橋（孝）、立川、長谷川、松岡
学内委員：本間（議長）、城後、蛇穴、佐川、石川、渡部
オブザーバー：芝木、大津、佐藤、蛭田、高橋（教）、中尾
欠席者 なし

○前回議事要旨確認

学長から、資料2に基づき説明があり、確認・了承された。

○報告事項

1 中期計画の変更の認可について

芝木副学長から、資料3に基づき、ミッションの再定義等に伴う本学の中期計画の変更案について、文部科学大臣より認可された旨の報告があった。

2 平成26年度入学者選抜試験実施状況及び平成26年度学部・大学院の在学者数について

佐川理事から、資料4に基づき、平成26年度入学者選抜試験実施状況と平成26年4月1日現在の学部・大学院の在学者数の報告があった。

[学外委員からの主な意見]

- ・大学院の定員割れがここ何年も続いているのは問題である。
- ・大学院修了後の就職先が、大学院で修得したことが活かされるものになっていないように思われる。大学院で学んだことで、現場でプラスに感じるのではないかと大学院に進学する学生も少なくなる。これを解決するには学内努力だけでは難しいので、教育委員会や地域などの就職先に理解を求めてはどうか。
- ・実学と大学院を関連付けた教育を再検討し、大学院入学者を増やす努力をすべきである。
- ・既存の大学院の定員を減らし、教職大学院の定員を増やすなどの検討も必要ではないか。
- ・函館校の国際地域学科に対応した大学院を設置することとなった場合は、青年海外協力隊からの帰国者も入学者のターゲットとなると思われるので、社会人経験者の入学枠等の検討も行うと良い。

3 国際化に向けてのアクションプラン平成25年度実施結果について

佐藤副学長から、資料5に基づき、平成25年度における各責任部局の実施結果の概要の報告があった。

[学外委員からの主な意見]

- ・JICAのボランティア事業に学生を派遣する計画があるようだが、帯広畜産大

学では、一部の教員に業務が偏ったことで派遣が中断したケースがあったため、組織的に進めた方が良い。

○その他

1 学外委員の各校視察等について

学長から、各校の状況や大学運営をより理解していただくため、学外委員に各校の視察や教育研究評議会構成員との懇談を行ってほしい旨の依頼があった。具体的な案を検討し、改めて依頼することとした。

2 次回（第2回）会議の日程について

平成26年6月24日（火）17時00分から、札幌駅前サテライトで行うこととした。それ以降の予定は、前述の視察等の予定とあわせて調整することとした。

以 上